

「食育」に関するアンケート調査

アンケート実施期間 平成28年11月16日 ~ 平成28年11月25日
回答者数 188名 (登録者数 475名) うち配信成功数 401名)

●性別

男性	131	70%
女性	57	30%
計	188	

●年齢

20代以下	3	2%
30代	21	11%
40代	38	20%
50代	38	20%
60代	56	30%
70代以上	32	17%
計	188	

Q1 あなたの家族構成を教えてください。

三世帯世帯	26	14%
親と子(二世帯世帯)	84	45%
夫婦のみ	62	33%
1人暮らし	16	9%
その他	0	0%
計	188	

Q2 あなたは今年の7月2、3日に開催された「食育メッセ2016」に参加しましたか。

一般客として参加した →Q2-1へ	13	7%
出展企業・団体として参加した	0	0%
ボランティアとして参加した	1	1%
参加していない	174	93%
計	188	

Q2-1 どなたと参加しましたか。(複数可)

家族	7	54%
友達	2	15%
同僚	0	0%
一人で参加した	4	31%
その他	0	0%
計	13	

Q3 あなたは「食育」に関心がありますか。それとも関心がありませんか。

関心がある	43	23%
どちらかといえば関心がある	96	51%
どちらかといえば関心がない	33	18%
関心がない	16	9%
計	188	

Q4 次のような国や県、市等で行っている取組等を知っていますか。（複数可）

岡崎市食育推進計画	30	6%
健康おかざき21計画	22	5%
早寝早起き朝ごはん運動	23	5%
地産地消	126	27%
食育推進ボランティア	13	3%
食生活改善推進員	14	3%
食育の日（毎月19日）	7	1%
食育月間（毎年6月）	1	0%
食品衛生月間（毎年8月）	17	4%
噛ミング30（カミングサンマル）	7	1%
8020（ハチマル・ニイマル）運動	85	18%
食育カレンダー	6	1%
まめ吉通信（おかざき健康・食育だより）	25	5%
岡崎市健康づくりサポート施設	14	3%
岡崎市農林産物ブランド化推進品目	11	2%
まめ吉による普及啓発	11	2%
給食戦隊ツクルンジャーによる普及啓発	4	1%
いいともあいち運動	7	1%
全て知らない	44	9%
計	467	

Q5 次のような食育に関する取組で参加してみたいものはありますか。（3つまで）

子どもに対する食育活動	40	9%
生活習慣病の予防などの健康づくりのための食生活に関する活動	80	19%
郷土料理、伝統料理など食文化継承活動	52	12%
食品の安全性など適切な食品選択のための活動	51	12%
食品廃棄や食品リサイクルに関する活動	30	7%
農業・収穫体験など農林漁業などに関する体験活動	50	12%
食品工場見学などの活動	94	22%
参加してみたいと思う取組はない	24	6%
その他	2	0%
計	423	

Q6 ふだん朝食を食べますか。

ほとんど毎日食べる	162	86%
週に4～5日食べる	6	3%
週に2～3日食べる	7	4%
ほとんど食べない	13	7%
計	188	

Q7 1日最低1食きちんとした食事を、家族等2人以上で楽しく30分以上かけていますか。

はい	128	68%
いいえ	60	32%
計	188	

Q8 主食・主菜・副菜をそろえて食べることが1日に2回以上あるのは週に何日ですか。

ほとんど毎日食べる	112	60%
週4～5日食べる	31	16%
週2～3日食べる	31	16%
ほとんど食べない	14	7%
全く食べない	0	0%
計	188	

Q9-1 毎日の朝食で、野菜料理をどのくらい食べていますか。

全く食べない	67	36%
付け合せ程度	51	27%
小鉢1つ程度	40	21%
煮物、炒め物程度	28	15%
鍋物、おでん程度	2	1%
計	188	

Q9-2 毎日の昼食で、野菜料理をどのくらい食べていますか。

全く食べない	18	10%
付け合せ程度	87	46%
小鉢1つ程度	49	26%
煮物、炒め物程度	30	16%
鍋物、おでん程度	4	2%
計	188	

Q9-3 毎日の夕食で、野菜料理をどのくらい食べていますか。

全く食べない	1	1%
付け合せ程度	28	15%
小鉢1つ程度	47	25%
煮物、炒め物程度	79	42%
鍋物、おでん程度	33	18%
計	188	

Q10 野菜を十分食べていると思いますか。

十分食べていると思う	27	14%
概ね食べていると思う	86	46%
不足気味だと思う	57	30%
かなり不足していると思う	18	10%
計	188	

Q11 野菜が不足しやすい理由として考えられるのは何ですか。（複数可）

調理に手間がかかるから	72	25%
調理法が分からないから	26	9%
野菜の値段が高いから	90	31%
野菜がきらいだから	22	8%
外食が多いから	30	10%
作っても食べきれないから	20	7%
野菜以外で栄養をとればよいから	14	5%
その他	13	5%
計	287	

Q12 健康に気をつけていることは何ですか。（複数可）

睡眠、休養を十分とるよう心がけている	118	21%
食事・栄養に気を配っている	95	17%
野菜を意識して食べるようにしている	66	12%
酒・タバコを控えている	45	8%
定期的に健康診断を受けている	94	16%
運動やスポーツをするようにしている	91	16%
新聞・テレビ・雑誌などで健康の情報・知識を増やすようにしている	47	8%
その他	5	1%
何もしていない	9	2%
計	570	

Q13 あなたは、食べ残しなどのむだを減らしたり、廃棄の少ない食事づくりをしていますか。

積極的にしている →Q13-1へ	71	38%
できるだけするようにしている →Q13-1へ	96	51%
あまりしていない	17	9%
していない	4	2%
計	188	

Q13-1 食べ残しや食品廃棄を減らすためにどのようなことに取り組んでいますか。（複数可）

残さないように食べる	128	29%
作り過ぎ（注文し過ぎ）ないようにする	83	19%
買い過ぎないようにする	65	15%
捨てる部分が少なくなるように食材を調理する	47	11%
食べ物の適切な保存方法を知る	37	8%
消費・賞味期限を確認して購入する	72	16%
特に取り組んでない	1	0%
その他	6	1%
計	439	

Q14 食品を購入するとき、原材料や賞味期限など食品表示を意識していますか。

いつも意識して購入している	114	61%
時々意識して購入している	59	31%
あまり意識して購入していない	13	7%
意識していない	2	1%
計	188	

Q15 野菜を購入する際、産地にこだわっていますか。

できれば岡崎市産がよい	24	13%
できれば愛知県産がよい	32	17%
国内産であればよい	103	55%
過去に問題があった国の輸入品でなければよい	10	5%
特にこだわっていない	19	10%
計	188	

Q16 現在、家庭菜園等で野菜作りをしていますか。

している →Q16-1へ	73	39%
していない	115	61%
計	188	

Q16-1 どのように野菜作りを行っていますか。（複数可）

自宅の庭や畑での家庭菜園	56	72%
ベランダや室内での家庭菜園	11	14%
市民農園等の貸し農園による野菜作り	10	13%
農業としての野菜作り	1	1%
その他	0	0%
計	78	

Q17 あなたは、地域や家庭で受け継がれてきた食べ方・作法を受け継いでいますか。

受け継いでいる →Q17-1	74	39%
受け継いでいない	114	61%
計	188	

Q17-1 受け継いできた食べ方・作法を地域や次世代（子供・孫を含む）に伝えていますか。

伝えている	46	62%
伝えていない	28	38%
計	74	

Q18 あなたは、次の料理や菓子を知っていますか。（複数可）

味噌煮込みうどん	183	10%
味噌田楽（こんにやく）	174	10%
味噌田楽（豆腐）	169	9%
煮味噌〔野菜の味噌煮〕	90	5%
焼味噌〔八丁味噌にゴマなどを入れ焼いたもの〕	60	3%
どて煮	176	10%
菜めし	146	8%
岡崎まぜめん	128	7%
五平餅	185	10%
いがまんじゅう	155	9%
おこしもの〔こねた米粉を着色し型抜きして蒸したもの〕	66	4%
あわゆき〔寒天にメレンゲを合わせた菓子〕	153	9%
へぼ飯（蜂の子）	100	6%
すべて知らない	1	0%
計	1786	

● Q 5

特に参加したくない
すでに6年間NPO団体にて園児の食農教育活動に参加している

● Q11

料理は好きですが、忙しく時間が十分取れない。ワンパターンになりがち。
野菜料理の提供がない。
バリエーションがあまりないので、飽きてしまう。
野菜が好きではないから(きらいではない)
短時間で満腹感を得るには物足りないから
野菜を取らなくて済むから
最近は野菜が高値であるため
ひとてまが面倒だから
新鮮な野菜の入手が面倒
仕事で疲れてあまり作れない。
不足しているとは思はない。
理解できない。
概ね食べているし、回答選択に答えが当てはまらない。

● Q12

添加物、農薬、放射性物質をとらないようにする
無添加食品や有機無農薬野菜をなるべく摂る
ごはんが大好きなので食べ過ぎないように注意しているが食べ過ぎている。
毎日、農作業するように心がけている
酒・タバコはやらない。人と話し笑う。

● Q13-1

提供される側であるため、取り組みの余地がない。
主として自家菜園の野菜を調理するため、野菜の購入量は非常に少ない
食材配達(ショクブン)を利用し、その日に要る分だけになっている
賞味期限は多少のことなら気にしない。
肥料にしている
最近は野菜も自分で冷凍して保存期間を長くする努力をしています。